

# 令和5年度 事業報告

## 1 総括

令和5年度は、当協議会のプラットフォーム機能の発揮により会員との連携・協働体制の構築・強化を図りながら、ポストコロナの需要回復・拡大等に対応するビジネス展開の支援（商談会、セミナーの開催等）、将来における航空／空港関連人材の確保に向けた人材育成支援（出張授業、体験型航空教室の実施等）、成田空港の利便性と県内等観光の魅力を国内外に発信する空港の利用促進プロモーションなどの事業に取り組んだ。

また、新規事業として、航空業界を取り巻く新たな課題の解決に向けた事業展開支援を図るため「SAFの地産地消」をテーマとしたセミナーを開催したほか、高校生の航空／空港関連業種への就業意識の向上につなげるため、高校の教員を対象とした空港視察会等を実施した。

## 2 事業の概要

### 【1】ビジネス創出支援事業

(1-1) 成田空港の更なる機能強化と道路ネットワークの拡充効果を活かした産業集積とビジネス創出に向けた取組

#### ○ 第1回県内経済活性化セミナー

「『新しい成田空港』中間構想とりまとめについて」及び「成田空港周辺地域の土地利用規制の弾力化について」

日 時：令和5年5月22日（月）

場 所：TKPガーデンシティ千葉

参加者：116名

内 容：

① 「『新しい成田空港』構想中間とりまとめについて」

講師：成田国際空港株式会社 上席執行役員

経営企画部門副部門長・空港計画部長事務取扱

川瀬 仁夫 氏

② 成田空港周辺地域の土地利用規制の弾力化について」

講師：千葉県 総合企画部 成田空港政策課長

椎名 正明 氏

- セミナーアンケートの意見は、「ワンターミナル化により、物流拠点として充実した設備・アクセスを整備しようとしていることが理解できた」や「農地転用などについて、弾力化が進められているのがわかった」等、満足度が高いものであった（参考になった：94%）。
- 今後のセミナーで取り上げて欲しいテーマには、「インバウンド需要の将来」や「空港周辺の物流倉庫における成田空港機能拡張との関連性」等の意見が出た。これらの意見も踏まえながら、次年度のセミナーテーマを検討する。

## ○ 第2回県内経済活性化セミナー

### 「農業の生産性向上とブランディング（高付加価値化）及び輸出促進」

成田空港周辺地域は、空港や市場などのインフラや地理的条件が整っており、農業による地域活性化のポテンシャルが高い。

このポテンシャルを引き出し、成田空港の利用促進やIC周辺の産業集積を図るため、先進的取組を行っている農業経営者を講師としたセミナー及び先進事例の視察会を開催した。

#### (1) セミナー

日 時：令和5年10月16日（月）14時00分～16時40分

場 所：千葉銀行本店 3階大ホール

参加者：112名（会場62名、オンライン50名）

（会員69名、非会員43名）

内 容：

① 「成田空港を活用した農産品の輸出とブランド力向上」

有限会社 青空市場 代表取締役 永島 敏行 氏（俳優）

② 「強い農業はこえていく」

株式会社 くしまアオイファーム 代表取締役会長 池田 誠 氏

③ 「1粒1,000円！ミガキイチゴの挑戦」

株式会社 GRA 代表取締役 岩佐 大輝 氏

※講演会終了後、会場後方にブース（テーブル）を設置し、講師と参加者との交流の場を設けた。名刺交換・情報交換等が盛んに行われた。

#### (2) 先進事例視察（セミナー及び視察）

日 時：令和5年10月27日（金）8時30分～17時10分

場 所：（セミナー） 常総市地域交流センター

（視 察） アグリサイエンスバレー常総

参加者：58名（会員限定、17企業・団体）

内 容：

a. セミナー

- ① 「アグリサイエンスバレー常総“農業の6次産業化によるまちづくり”」  
常総市 産業振興部 アグリサイエンスバレー整備課  
課長補佐 塚本 義史 氏
- ② 「常総インターチェンジ周辺地区 《アグリサイエンスバレー構想》」  
戸田建設株式会社 戦略事業本部  
国内投資開発事業部 地域価値創生部 部長 飯田 勝 氏
- ③ 「アグリサイエンスバレーへの進出について」  
グッドマンジャパン株式会社 リーシング&ビジネスディベロップメント  
リーシング統括部長 坂本 聖司 氏

b. 視察

- ① 道の駅常総  
常総市担当者の説明により、農産物直売所、売店、食堂のほか、TSUTAYA BOOKSTORE、屋外こども広場等を視察。  
常総市担当者の案内により実施。
- ② グランベリー大地（イチゴ農園）  
農園代表の説明により、栽培現場、農園併設の直売所等を視察。
- ③ その他  
バス車内（往路）で、「圏央道等、道路インフラの整備状況」、「成田空港のさらなる機能強化」、「常総市のアグリサイエンスバレー構想」について、勉強会を開催。

- （1）のセミナーについて、参加者アンケートによると、「大いに参考になった」が全体の72%、「ある程度参考になった」が同28%であった。  
また、自由意見では、「成田空港経由の農産物の輸出に可能性を感じる事ができた」、「輸出はハードルが高いと思っていたが、自分達でもできるのではないかと感じた」等、前向きな声が寄せられた。
- （2）の先進事例視察について、参加者アンケートによると、「大いに参考になった」が全体の75%超で最も多く、次いで「ある程度参考になった」が同23%であった。  
また、自由意見では、「行政と民間の関わり方や、開発と農業の両立について、大変参考になった」等の回答があった。
- 今回、会員から改めて「産業集積」への高い関心(空港周辺への企業誘致等)が示されたことから、引き続き、産業集積への機運醸成につながる取組を検討・

実施してまいりたい。

## (1-2) 成田空港の成長と社会・経済の変革・イノベーションに対応した事業への取組

### ○ 航空／空港関連企業との商談会

航空／空港関連企業と県内食品事業者とのビジネスマッチングを行うことで、成田空港を起点とした新しいビジネスの実現を図り、県経済の活性化につなげるもの。

6回目の開催となる令和5年度は、食品の卸売・小売・機内食等を展開するバイヤーと県内食品事業者との個別商談及び展示商談を実施し、県経済の活性化及び航空／空港関連事業者との取引機運醸成を図った。

成約の後押し及び商談スキル向上のため、前回に続いて専門家による事前研修や個別アドバイスを行うなど、商談に不慣れな参加者にも安心して参加いただけるよう、きめ細やかな支援を行った。

日 時：令和5年11月21日（火） 10時00分～16時30分

場 所：ANAクラウンプラザホテル成田（成田市）

参加者：バイヤー 20社（21部門）

サプライヤー 49社（県内に事業所・生産拠点をもつ企業等）

開催方式：事前マッチング型の個別商談及び展示商談

対象品目：「千葉ならではの」という特徴をPRできる商品

- 前回に続いて専門家による参加者への支援を丁寧に行った結果、商談会の2～3か月後時点で約20%の商談が成約又は継続商談中であり、継続商談数は過去3回中最大数であることから、今後に期待が持てる結果となり、通常であればなかなか接点を持つことができない航空／空港関連企業との商機獲得に貢献することができた。
- 引き続き、専門家による参加者支援を行うことにより商機獲得の向上を図りながら、開催することとしたい。

### ○ ランドオペレーターとの商談会

当協議会と千葉インバウンド促進協議会の共催のもと、会員企業、団体及び自治体にランドオペレーターを活用いただくことで、千葉県を訪れる訪日外国人旅行客の増加に向けた魅力的な旅行商品の造成に繋げることを目的に、平成27年度より毎年度開催を基本（コロナ禍の影響により開催中止期間あり）とし、今期は7回目の開催となった。

日 時：令和6年2月29日（木）

場 所：マロウドインターナショナルホテル成田（成田市）

参 加 者：セラー 35社、58名

バイヤー 25社、33名

- セラー・バイヤーともに、過去最多の参加人数であった。  
アジアをメインに活動しているランドオペレーターに加え、ヨーロッパ・北米等をメインに活動しているランドオペレーターにも多数参加いただいた。
- セラー・バイヤー双方へのアンケートでは、満足度72%と高い評価を得た。  
また、参加した会員からは、今後も引き続き開催してほしいとの声があったことから、次年度以降も継続開催を検討する。

### ○ 第3回県内経済活性化セミナー

#### 「SAFの“地産地消”を通じた地域経済の活性化について」

航空業界の脱炭素に向けてSAFの導入は不可避であり、成田空港を抱える千葉県にとっても大きな課題となっていることから、今後のSAFのサプライチェーン構築（地産地消）を図るとともに、これを地域経済の活性化につなげるため、会員等を対象としたセミナー及びパネルディスカッションを開催した。

日 時：令和6年3月1日（金）14時00分～16時30分

場 所：千葉銀行本店 3階大ホール

参 加 者：137名（会場68名 オンライン69名）

内 容：

#### （1）第1部：基調講演

- ① 「航空業界のSAF導入目標について」  
定期航空協会 部長 吉田 秀彦 氏
- ② 「成田空港におけるSAFの促進」  
成田国際空港（株）執行役員 経営企画部門 経営計画部  
サステナビリティ推進室長 田代 敏雄 氏
- ③ 「千葉県でのSAFの地産地消の可能性と課題」  
（株）ちばぎん総合研究所 調査部 主任研究員 久山 直登 氏
- ④ 「廃食用油を活用したSAF製造プロジェクトと国産SAF普及に向けた取り組み」  
日揮ホールディングス（株）サステナビリティ協創ユニット  
プログラムマネージャー 西村 勇毅 氏
- ⑤ 「SAFプロジェクト取り組み」  
リーテイルブランディング（株）常務執行役員  
リーテイルサポート事業部長 山内 赴 氏

## (2) 第2部：パネルディスカッション

モデレーター：(株)ちばぎん総合研究所 代表取締役 前田 栄治 氏

パネラー：定期航空協会 吉田 氏、

日揮ホールディングス (株) 西村 氏、

リーテイルブランディング (株) 山内 氏

テ ー マ：①SAF のサプライチェーン構築に向けての課題

②千葉県におけるポテンシャルやビジネスチャンス

- SAF というあまりなじみのない題材を扱ったが、時機に適ったテーマであったことから、参加者からは、「ビジネスチャンスを感じた」・「貴重な学習の機会となった」・「わかりやすい」など好意的な声が寄せられた。
- 引き続き、SAF についての機運醸成が必要なことから、会員のビジネスチャンス拡大・イノベーションの促進につながる取組を検討・実施してまいりたい。

## (1-3) 成田空港の効果の全県への波及に向け、市町村が取り組む地域活性化事業との連携

### ○ 日本文化の発信によるターミナル空間の価値向上及び近隣エリアへの誘客

成田空港を経由する訪日外国人や県外観光客の県内への誘客を促進するため、国立歴史民俗博物館が所蔵する「江戸図屏風」をもとに令和元年度に製作した「光る江戸図」を、4言語（日本語・英語・中国語・韓国語）対応の解説用 ICT 機器と併せて成田空港内で展示を行うもの。

新型コロナウイルス感染症の影響により、設置場所が3年2か月もの間閉鎖されていたが、令和5年6月から閉鎖解除となり展示を再開した。

#### 【設置状況】

期 間：令和2年3月12日（木）～令和6年3月31日（日）

設置場所：成田国際空港第2旅客ターミナルビル 出国手続き後エリア

（「NARITA SKY LOUNGE 和」内）

- 展示は再開されたものの一般の公開期間はまだ1年未満と短いことから、令和6年度も展示継続し、引き続き展示品を活用した県内交流人口の拡大を目指す。



## ○ 地域課題解決のための検討会

地域の会員ニーズを把握するため、海匝地域において地域ミーティングを開催し意見交換を行った。

また、令和4年度の安房地域における地域ミーティングを受けて同地域が実施することとなった、地域課題（インバウンド誘客）の解決を図る事業に協力した。

### (1) 地域ミーティングの実施

#### ◇ 海匝地域

- ・ 実施日：令和5年8月14日（月）
- ・ 会 場：各市役所（銚子市、旭市、匝瑳市）会議室
- ・ 参加者：銚子市、旭市、匝瑳市、成田空港活用協議会

### (2) 過去に開催した地域ミーティングを受けて地域が実施することとなった事業への協力

#### ◇ 安房地域（令和4年度に地域ミーティングを開催）

- ・ 成田から安房地域へのインバウンドの誘客可能性を検討するため、南房総市観光協会及び館山市観光協会が、令和6年2月11日（日）、成田・安房地域間にJR東日本の「B. B. BASE」（自転車とともに移動できる電車）を走らせるモニターツアーを実施した。
- ・ 活用協は、プレスリリースにより当ツアーを周知したほか、県の「チーバくんグローバルパートナーズ」等の当ツアーへの参加費用等を助成し、インバウンド視点での意見・感想を事業実施者へ提供するなどの協力をした。

➤ 地域ミーティングを実施することにより、空港から離れた地域が抱える課題（成田空港からのインバウンド誘客等）について把握することができた。

➤ 引き続き地域ミーティングを開催することにより、会員ニーズの把握に努め、地域の課題解決につなげることをしたい。

## 【2】人材育成支援事業

### ○ 高校生向け航空／空港関連業種についての出張授業

航空／空港関連業種の一部は現在も人手不足が課題となっているが、成田空港の更なる機能強化に伴い、これら業種の労働需要は一層高まり、課題が深刻化することが想定される。

そこで将来的な航空／空港関連企業の採用確保や航空人材の育成を図るため、高校生向け航空／空港関連業種に関する出張授業を行った。

① 千葉敬愛高等学校における出張授業

- ・ 実施日：令和5年10月26日（木）
- ・ 時 間：15時45分～16時50分
- ・ 会 場：千葉敬愛高等学校 マルチホール
- ・ 参加者：生徒 27名
- ・ 内容・講師：  
「WORK at NARITA AIRPORT」 (株) Flact  
「空港で働くANA現役社員による航空出張授業」  
ANA成田エアポートサービス (株)

② 八千代松陰中学校・高等学校における出張授業

- ・ 実施日：令和5年10月28日（土）
- ・ 時 間：11時00分～12時30分
- ・ 会 場：八千代松陰中学校・高等学校 教室
- ・ 参加者：生徒 22名
- ・ 内容・講師：  
「WORK at NARITA AIRPORT」 (株) Flact  
「JAL現役グランドスタッフによる航空出張授業  
～空港で活躍するグランドスタッフ」 (株) JALスカイ

③ 千葉県立一宮商業高等学校における出張授業

- ・ 実施日：令和5年10月31日（火）
- ・ 時 間：15時45分～17時10分
- ・ 会 場：千葉県立一宮商業高等学校 教室
- ・ 参加者：生徒 11名
- ・ 内容・講師：  
「WORK at NARITA AIRPORT」 (株) Flact  
「空港で働くANA現役社員による航空出張授業」  
ANA成田エアポートサービス (株)

④ 千葉県立長狭高等学校における出張授業

- ・ 実施日：令和5年12月1日（金）
- ・ 時 間：15時45分～17時00分
- ・ 会 場：千葉県立長狭高等学校 視聴覚室
- ・ 参加者：生徒 13名
- ・ 内容・講師：  
「WORK at NARITA AIRPORT」 (株) Flact  
「JAL現役グランドスタッフによる航空出張授業」



～空港で活躍するグランドスタッフ」 (株) JALスカイ

⑤ 千葉県立松尾高等学校における出張授業

- ・ 実施日：令和6年3月13日（水）
- ・ 日 時：12時30分～14時00分
- ・ 会 場：千葉県立松尾高等学校 視聴覚室
- ・ 参加者：生徒 28名
- ・ 内容・講師：

「WORK at NARITA AIRPORT」 (株) Flact

「貨物・旅客のお仕事」 国際空港上屋 (株)

- 企業の現役スタッフ等による「航空／空港関連業種についての出張授業」を実施することで、成田空港には様々な仕事があることや、実際の業務内容、やりがい等について、生徒に紹介することができた。
- 引き続き、教育機関と連携しながら、本事業を継続してまいりたい。

○ 将来的な人材育成・確保に向けた体験型航空教室等実施支援事業

(高校生を対象とした体験型航空教室)

航空／空港業界の人材育成・確保を図るため、千葉県内及び県外会員市町所在の高等学校の生徒を対象として、施設見学や現役スタッフを交えた座談会等を通して、航空現場の魅力ややりがいを紹介する「体験型航空教室」を実施した。

(1) ツアー1 (GPA+ANA)

実施日：令和5年11月4日（土）

開催場所：成田空港内制限エリア及びANA成田スカイセンター

参加者等：20校72名（男性14名、女性55名、教員3名）

内 容：

- ① ランプ内周遊ツアー、グランドハンドリング業務紹介
- ② グランドスタッフ業務紹介・体験
- ③ 保安係員による輸送制限品に関する講話、オペレーション業務講座
- ④ 現役スタッフとの座談会

(2) ツアー2 (GPA+JAL)

実施日：令和5年11月11日（土）

開催場所：成田空港内制限エリア、JALオペレーションセンター等

参加者等：18校73名（男性25名、女性47名、教員1名）

内 容：

- ① ランプ内周遊ツアー、グランドハンドリング業務紹介
- ② 出発機お見送り体験
- ③ グランドスタッフ業務紹介・体験 又は 航空機整備工場見学
- ④ 現役スタッフとの座談会

- アンケート結果によると、参加者の満足度は非常に高く（大変満足・満足：94%）、「航空業界で働きたい思った」と回答した生徒が多かった（81%）。
- 現役スタッフから直接、仕事のやりがいなどについて話を聞く機会を得られたことが、航空／空港関連業種に興味や関心を高める結果となったと考えられ、引き続き、関係企業と連携しながら本事業を継続してまいりたい。

#### ○ 将来的な人材育成・確保に向けた体験型航空教室等実施支援事業 （成田空港合同企業説明会・見学会）

人材不足が懸念されるグランドハンドリング会社などの空港内関連企業の人材確保を図るために成田国際空港(株)が主催する、合同企業説明会・空港見学会を後援した。

開催の周知について協力するとともに、当協議会の自治体会員からの希望に応じて「移住・定住」パンフレットを会場内に配架した。

- 今後も成田空港や航空関連産業の従事者を確保するため、後援等の協力を継続することとしたい。

#### ○ 成田空港教育教材作成

航空／空港関連業種で働く人材の育成・確保を目的として、成田空港の概要に加え、様々な仕事や魅力を掲載した「成田空港 おしごと丸わかりBOOK」を発行した。また、誰もが自由に使えるよう当協議会のホームページに掲載した。

作成に当たっては、成田空港及び航空／空港関連業種について、より興味や関心を持ってもらえるよう、モニターツアーを通じて県内高校生の意見を取り入れた。

- 千葉県内及び県外会員市町所在の高等学校へ案内し、成田空港で働くことの魅力について、生徒に紹介することができた。
- 必要に応じて、時点修正等の見直しを検討する。

## ○ 高等学校の教員向け空港視察会

航空／空港関連業種の一部は現在も人手不足が課題となっているが、成田空港の更なる機能強化に伴い、これら業種の労働需要は一層高まり、課題が深刻化することが想定される。

そこで、成田国際空港(株)との共催により、航空／空港業界の人材の育成・確保を目的として、高等学校の教員を対象とした空港視察会を開催した。

教員を対象とした視察会は成田空港として初めての取組となった。

実施日時：令和5年8月3日（木） 13時30分～17時00分

開催場所：成田空港内

参加者：20校26名

参加企業：(株)FMG、(株)ジェイ・エス・エス、国際空港上屋(株)、  
ジェットスター・ジャパン(株)、日本空港サービス(株)

内 容：

- ① 空港概要説明
- ② 空港見学（制限エリア、現場作業）
- ③ 航空／空港関連企業のスタッフとの座談会

- アンケート結果によると、参加教員の皆様から、進路指導の参考になったとの回答があった。また、「空港にはいろいろな仕事があることがよくわかった」や「実際に見学し、仕事内容がよくわかった」との声もあったため、教員の皆様に航空／空港業界の様々な仕事・職について関心を持ち、理解を深めていただけたと考えられる。
- 引き続き、航空・空港業界の人材育成・確保を図るため、成田国際空港(株)と連携し、実施を検討する。

## ○ 大学との連携による人材育成

航空／空港関連業種の一部は現在も人手不足が課題となっているが、成田空港の更なる機能強化に伴い、これら業種の労働需要は一層高まるものと予想される。当協議会としては、これまで高校生向けの人材育成事業に注力してきたが、新たな取組として大学生向け事業の実施可能性を検討するため、令和5年度、モデル事業として、大学生に航空／空港関連業種に興味や関心を高めてもらうための出張授業を開催した。

◇ 神田外語大学における出張授業

- ・ 実施日：令和6年1月16日（火）
- ・ 時 間：16時30分～18時00分

- ・ 会 場：神田外語大学 教室
- ・ 参加者：学生 28名
- ・ 内容・講師  
「WORK at NARITA AIRPORT」(株) Flact  
「LCCビジネスモデルと航空会社で働く魅力」Peach Aviation(株)  
「世界を繋ぐ航空貨物の世界と仕事」 国際空港上屋 (株)

➤ 学生からのアンケート結果によると、「有意義な時間であった」・「現実的な話を聞く事で航空業界に興味が生まれた」・「航空業界には色々な職種があったのでもう一度自分がやりたいことを確認したい」等の肯定的な意見が多く、参加した大学生に対して、航空／空港関連業種への興味や関心を高めることができたと言える。

また、大学関係者からも「学生にとって貴重な機会となった」との意見があったほか、講師派遣企業からも「是非また参加したい」との言葉をいただいた。

➤ 引き続き、大学と連携した出張授業の実施について検討する。

### 【3】空港利用促進事業

#### ○ 空港利用回復事業

コロナ禍からの成田空港の利用回復、県内経済の回復・拡大を後押しするため、訪日外国人向けや国内線新規就航に係るプロモーション等を実施し、成田空港の利便性や地域の魅力を国内外に発信した。

##### (1) 千葉県誕生 150 周年記念行事オープニングイベントへのブース出展

県庁各課や市町村の物販や体験が楽しめる「千葉の魅力発見コーナー」において、県や成田国際空港(株)の担当者とともにブースを構え、ノベルティグッズを配布するなど、成田空港利用促進のためのPRを実施した。

日 時：令和5年6月11日(日) 10:00～17:00

場 所：森のホール21(松戸市文化会館) レセプションホール

内 容：アンケート回答者へノベルティの提供 等

##### (2) 台湾における成田空港利用促進プロモーション

知事による台湾トップセールスの機会を捉えて、観光商談会への参加事業者(台湾の観光業者)に対し、当協議会の会員団体と連携して、成田空港の利便性や県内観光等の魅力を発信した。

日 時：令和5年11月16日（木）14：00～17：00

場 所：リージェント台北（台北市内ホテル）

内 容：エコバッグ等 提供

成田空港ブースにおいて、当協議会で作成した千葉県PRバナーを設置し、会員から提供のあった観光パンフレット（繁体字）とチーバくんピンバッジをエコバッグに入れて台湾の観光業者向けに配布した。

### （3）国内線新規就航に係るプロモーション

成田-旭川線就航に伴うPRとして、北海道旭川市において、「旭川冬まつり」に合わせて開催された地元商店会のイベント（真冬の公園まつり）へのブース出展及び飲食店（旭川はれて屋台村）へのポスター掲示等を実施し、会員市町村等の地域の魅力を発信した。

#### ① 初便搭乗者へのノベルティ提供

実施日：令和5年12月15日（金）

#### ② 2024年氷彫刻世界大会協賛

会 期：令和6年2月7日（水）～ 12日（月・振休）

#### ③ 旭川フードテラスでのプロモーション

実施日：令和6年2月12日（月・振休）

#### ④ 旭川はれて屋台村（全25店舗）でのPR

実施日：令和6年2月12日（月・振休）～3月12日（火）

#### ⑤ フリーペーパー「ライナー」への広告（旭川市様ご協力）

実施日：令和6年2月2日（金）

### （4）成田空港第1ターミナルビルパンフレットラックでのPR

インバウンド需要に対応するため、訪日外国人を対象とした日本で提供されるサービス等が掲載されているパンフレットを成田空港内に配架し、地域の魅力をPRした。

実施時期：令和5年4月～令和6年3月

掲出場所：成田空港第1ターミナル中央ビル1階

内 容：上記場所に設置されているパンフレットラックの一部を借り上げ、会員から募集した訪日外国人向けのパンフレットを配架することにより、地域の魅力をPRした。

掲出実績：28会員（令和5年度）

(5) イベント等での配布を目的としたオリジナルグッズの作成

成田空港を想起させ日常的にも使いやすいデザインのミニハンドタオル(2,000枚)を作成した。今後の当協議会が関係するイベント等で配布することで、PR効果を高めていく。

- 成田空港の利便性と県内等観光の魅力を国内外に発信することができた。
- 次年度は、引き続き会員との連携を図りつつ、誘客に加えて送客PRも展開できるように計画し、成田空港の利用促進を後押しする事業を実施してまいりたい。

#### 【4】基本的な取組

##### ○ 要望活動

###### ・ 首都圏中央連絡自動車道及び北千葉道路の整備推進に関する要望

圏央道及び北千葉道路の整備推進に向けて、関係2団体とともに、国等へ要望活動を行った。

実施日：令和5年11月21日(火)

要望先：財務省、国土交通省、県選出国會議員等

同時に要望した関係団体：千葉県議会首都圏中央連絡自動車道推進議員連盟  
首都圏中央連絡自動車道建設促進県民会議

##### ○ 会員相互の情報共有

###### ◇ 会員向け情報発信の強化

協議会の活動を広く広報するため、プレスリリース(令和5年度：11件)等により、メディアへの露出を積極的に図った。

会員に対する情報発信のため、当協議会の活動状況等をまとめたニュースレター(令和5年度：6回発行)を各会員に送付した。

会員によるプロモーションと連携・連動し、協議会及び協議会会員のPRを行った。

##### ○ 会員提案の募集・具体化

###### ◇ 会員提案の募集

令和6年度事業に係る本県の経済活性化につながる取組として、他の会員との連携・協働により取り組みたい事業の提案について募集した。(なお、会員からの事業提案は随時募集している。)

募集期間：令和5年11月9日（木）～令和5年12月15日（金）

提案状況：会員からの事業提案（23件）

#### ◇ 会員提案の検討・具体化

令和5年度事業として、以下の会員提案を事業化し実施した。

- ・ 農業の生産性向上とブランディング（高付加価値化）及び輸出促進に関するセミナー
- ・ 航空／空港関連企業との商談会
- ・ ランドオペレーターとの商談会
- ・ S A Fの“地産地消”を通じた地域経済の活性化
- ・ 日本文化の発信によるターミナル空間の価値向上及び近隣エリアへの誘客
- ・ 将来的な人材育成・確保に向けた体験型航空教室等実施支援事業
- ・ 成田空港教育教材作成
- ・ 空港利用回復事業